二〇一七年度

北海道公立高校入試問題

四五分
六〇点

（注）問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一　次の問いに答えなさい。

問一　(1)〜(4)の——線部の読みを書きなさい。

(1) 規則を守って図書館を利用する。

(2) 絵画コンクールに作品を応募する。

(3) 日を改めて話し合う。

(4) うれしい知らせに心が躍る。

問二　(1)〜(4)の——線部を漢字で書きなさい。

(1) 会議室の壁に大型モニターをせっちする。

(2) 目的地までのうんちんを調べる。

めて

る

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)　皿に料理をもりつける。

(4)　笛の合図でいきおいよく走り出す。

問三　次の漢詩を読んで、(1)、(2)に答えなさい。

黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る　李白

故人西辞黄鶴楼
煙花三月下揚州
孤帆遠影碧空尽
惟見長江天際流

故人西のかた黄鶴楼を辞し
煙花三月□
孤帆の遠影碧空に尽き
惟だ見る長江の天際に流るるを

（注）揚州――中国にある都市。
惟――ここでは、「唯」の字でも同じ。

(1)　この漢詩の形式を何と言いますか。□に当てはまる漢字一字を書きなさい。

□言絶句

りつける

い

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2) □ に当てはまる、——線部「下ル二揚州ニ一」の書き下し文を書きなさい。

問四 次の文を読んで、〰〰線部「大きな」と修飾・被修飾の関係にあるものを、ア〜キから一つ選びなさい。

ア水族館の イ水槽の ウ中で 大きな エくらげが オゆらゆらと カ泳いで キいる。

問五 次の文章を読んで、(1)〜(3)に答えなさい。

『源氏物語』には、七百九十五首の和歌が登場する。ストーリーの中心をなす恋愛の場面ではもちろんのこと、晴れの席で歌を詠（よ）みあうこともあれば、独り言をつぶやくように歌が詠まれることもある。

ここぞ、というときの和歌には、登場人物の思いが凝縮しているわけで、それが恋のゆくえを、大きく左右したりもする。心の通いあいから、すれ違い、かけひきにいたるまで、たった1三十一文字の言葉にこめられたものは、かぎりなく豊潤で奥深い。

それなのに、こんな声をよく耳にする。

「現代語訳で読んだけど、源氏物語って、おもしろいわねえ。えっ、和歌？ うーん、あぁここで歌のやりとりが行われたのかって思う、その程度かなあ」

次々と恋愛譚（たん）が繰り広げられる物語ゆえ、その筋を追ってゆくだけでも、十分楽しむことはできるだろう。けれど、それだけでは、もったいない。和歌は、2心の結晶なのだから。それを小石のようにポンと飛び越えてしまうのではなく、氷砂糖をなめるように味

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

わったならば、『源氏物語』の世界は、さらに豊かな表情を見せてくれることだろう。

（俵　万智「愛する源氏物語」より）

（注）　晴れの席――普段とは違う、表向きの特別な場。
　　　恋愛譚――男女が恋い慕う話。

(1)　――線1「三十一文字」とありますが、これは何を表していますか、文中から漢字二字で書き抜きなさい。

(2)　――線2「心の結晶」とありますが、これはどのようなものですか。「心」がたとえている内容を明らかにして、解答欄に示した表現につながるように、文中から十字以上、十五字以内で書き抜きなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□もの

(3)　国語の授業で、『源氏物語』の「書かれた時代」と「作者」を次のように一文で発表するとき、□に入る表現を考えて、十五字程度で書きなさい。

『源氏物語』は、□です。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

二

次の問いに答えなさい。

問一　次のA～Dの――線部を漢字に直したとき、「除雪」と熟語の構成が同じになるものを一つ選び、その漢字を書きなさい。

「除雪」

A　友達は私にとって大切なそんざいだ。

B　北海道は海産物のほうこだ。

C　オリンピックがかいまくする。

D　湖岸と中島とを観光船がおうふくする。

問二　(1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢字を書きなさい。

(1)　海外から輸入した商品の売り上げが伸びて、会社の利易が上がった。

誤って使われている漢字　　正しい漢字

(2)　調理実習では、先生の指示に従い、お互いに強力して作業をすることが重要だ。

誤って使われている漢字　　正しい漢字

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

問三　中学生の山田さんが、修学旅行で北海道に来た小学生たちに、北海道を紹介する観光ボランティアガイドを行うことになりました。次は、参考にしたウェブページ(A)と、実際にガイドを行っている場面の一部(B)です。これらを読んで、(1)～(3)に答えなさい。

(A)　ウェブページ

ハマナス

分類	バラ科バラ属。
大きさ・高さ	1.0～1.5m。
生育地等	海岸の砂地に自生する。
分布	北海道では，海岸に多く見られる。本州では，太平洋側は青森県から茨城県，日本海側は青森県から島根県辺りまで分布する。
花の特徴	初夏，枝先に1～3個ずつ花を付ける。芳香があり，香水の原料がとれる。花弁の色が美しいので，観賞用に庭木として栽培される。
実の特徴	直径2.5㎝ほどの球形で，黄赤色に熟す。
性質	耐寒性が強い。
名前の由来	ハマナス（浜茄子（はまなす））の名が定着しているが，ハマナシ（浜梨）が元の名と言われる。
その他	昭和53年，北海道の花に指定。

北海道の花「ハマナス」

ハマナスは、北海道110年を記念して一般公募を行い、「花の色が鮮明で葉も美しい」、「生命力が強い」など、北海道にふさわしい花という多くの意見により、昭和53年7月26日に北海道の花に指定されました。

(B)　実際にガイドを行っている場面の一部

（山田さん）　みなさん、こんにちは。私は、観光ボランティアガイドを行う山田です。

（小 学 生）　よろしくお願いします。

（山田さん）　この辺りに咲いている赤い花は、「ハマナス」という花です。みなさんは知っていますか。

（小 学 生）　北海道に来て初めて知りました。

（山田さん）　そうですか。でも、ハマナスは、東北や北陸などの本州でも見ることができます。みなさんの学校の近くでも咲いているかも知れませんよ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（小学生）　へえ、帰ったら探してみよう。

（山田さん）　北海道では、道内各地の海辺の砂地に生えています。ハマナスは、今から約四十年前の昭和五十三年に、北海道の花に指定されました。ハマナスを見て、どのような印象を持ちましたか。

（小学生）　花の色が明るくてきれいです。

（小学生）　赤くて丸い実がかわいいと思います。

（山田さん）　そうですよね。ほかにも、「生命力が強い」と言う人もいます。その理由は、［①］からです。

（小学生）　質問があります。ハマナスは、ナスの仲間なのですか。

（山田さん）　いい質問ですね。ハマナスの「ナス」は、元々は果物の「梨」の字を当てていました。「浜梨」がなまって「ハマナス」になったと言われています。ナスの仲間ではありません。

（小学生）　ハマナスは、梨の仲間なのですか。

（山田さん）　そうです。ハマナスも梨も同じバラ科の仲間です。果実を梨にたとえて「浜梨」と呼んだのでしょう。

（小学生）　面白いですね。

（山田さん）　［②］

(1)　(B)から、山田さんは、観光ボランティアガイドを行うに当たって、何を心がけていることが分かりますか。最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア　自分の考えを印象付けるために、重要な言葉を繰り返して話すこと。

イ　ハマナスについて詳しく説明するために、様々な比喩（ひゆ）を用いて話すこと。

ウ　自分の考えを確実に伝えるために、自分の意見を中心に話すこと。

エ　小学生たちの興味や関心を引き付けるために、質問を交えながら話すこと。

［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2) (B)の ① に当てはまる表現を、十五字以上、二十字以内で書きなさい。ただし、(A)から理由として適当な文を二つ取り上げ、まとめること。

(3) 山田さんは、(B)の最後で、ハマナスの特徴を生かした利用の仕方について、(A)の内容を参考にして二つ紹介しました。(B)の ② に当てはまる表現を、解答欄に示した表現につながるように、一文で書きなさい。ただし、小学生たちに伝わりやすいように言葉を言いかえること。

また、ハマナスの花は、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　次の文章を読んで、問いに答えなさい。

これは、ある職場で働く「私」が、別の職場で働く二歳年下の「陽子ちゃん」と知り合ったときの話です。

陽子ちゃんと知り合ったのは近所のパン屋だった。

仕事の帰りに、あるいは週末に、家で食べるためのパンを買う。それにはこの店の、小麦の匂いのぷんと立ち上がる堅いパンがいちばんだった。小麦と水と天然酵母だけで焼かれた素朴なパンだ。特に宣伝しているわけでもなさそうなのに、店には客足が途絶えることがない。普段着で、ひとりで買いに来る女性客が多く、地味なパンがひっそりと売れていく。1世の中は私が思っているよりも上等なのかもしれない。この店に来ると、そう思うことができた。

その小さな店で一度だけパン教室が開かれた。

天然酵母パンを焼いてみませんか――そう書かれた貼り紙にどうして振り向いたのか今となっては思い出せない。パンは買うものと決めていた。自分で焼く暇なんかなかった。それなのに、気がつくと、参加しますと申し出ていた。普段はパンを焼くどころか料理もせずに済ませたいほうだから、罪滅ぼしみたいな気分だったのかもしれない。

参加者は女性ばかり十五、六人だった。パンを焼くのがまったく初めてなのは、驚いたことに私ひとりだったようだ。みんな、家でパンなんか焼くんだろうか？　いつ？　なんのために？　聞いてみたい。聞いてみたい、と思いながら、篩（ふるい）に取った小麦を延々とかきまわし続けた。こうやってフスマを取り除くのだそうだ。休みなく粉をかきまわすうちに掌（てのひら）は赤くなり、額にはうっすらと汗をかいていた。ふと顔を上げると、台の端で店の主人が黙々と小麦を篩（ふる）い続けている。無骨な求道者（ぐどうしゃ）のようにも見えた。

想像していた優雅な教室とは違い、課される作業はひたすら地道で厳しかった。しかも、主人がいちばん熱心なのだ。手を休めるわけにもいかなかった。いくつかの班に分かれてけっこうな重労働に励んでいたせいで、別のグループの人とは言葉を交わす機会もないほどだった。だから、実習中の陽子ちゃんの様子を私は見ていない。見ておきたかったな、と思う。柔らかな髪を白い頭巾に包んで一心不乱

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

に粉をこねていたんだろう。

教室の終わりに、焼けたパンを試食してひとりずつ感想を述べた。私はへとへとだった。パンはたしかにおいしかった。イベントとしては成功かもしれない。しかし、あの工程を思うと2とてももう一度自分で焼く気にはなれなかった。

楽しかったです、おいしかったです、お店のパンが自分でも焼けるなんて感動しました――参加者たちが順々に3つるつるした感想を述べていき、いよいよ私は戸惑った。楽しいというなら、のんびり映画でも観ているほうが楽しい。おいしかったけれど、窯から出したばかりで、しかも贔屓目が入って三割増にはなっている。だいたい、手取り足取り教えられてなんとか焼き上がったのだ。余裕のある感想などまるで出てこなかった。

「私は自分では決して焼かないことにしました。この店でずっと買い続けます」

凜とした声でそう宣言した人がいた。まったく同じ気持ちだったから、私はうつむいていた目を上げて発言者の顔を見た。髪の長い、可愛い女の子だ。それが陽子ちゃんだった。

帰り道で一緒になった。

「びっくりしたなあ。いくら挽きたてがおいしいからって毎朝その日の分だけ小麦を製粉するなんて」

前を向いたまま陽子ちゃんがいった。私は隣で小さくうなずいた。

「それをぜんぶ手で漉すんだもの。篩にかけて、混じってるかどうかもわからない外皮をくまなく探す」

毎日そこから始める人がいるのだ。私たちは言葉少なに商店街の中を歩いた。

上等だと思っていた世の中を、実はなめていたのかもしれない。適当にやっていれば、適当にやっていける。社会人生活十年目にしてそんなふうに思いかけていたところだった。適当にやってちゃ、あのパンは焼けない。いつどんなときに食べてもしみじみとおいしいものが、適当につくられるわけがなかった。

世の中にはいろんなすごい人がいて、ぱっと思いつくアイデアのすごい人もいれば、地道な作業を淡々とこなすパン屋の主人みたいな人もいる。あたりまえといえばあたりまえなのに、ぱっとするほうに目を奪われて、パン屋の主人に気づかない。4少なくとも私はパン教室に参加しなければずっと見過ごしたままだったろう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

「今日は参加できてよかったよ」
陽子ちゃんが放心したようにつぶやいた。
「すごい人に会うと敬虔(けいけん)な気持ちになるね」
私たちはふたたびうなずきあった。

（宮下奈都「転がる小石」より）

（注）フスマ――小麦を粉にする時に出る外皮などのくず。
無骨――ここでは、「信念を貫き通すさま」のこと。
求道者――一つの道を極めようとして修行する人。
敬虔――深くうやまい、態度をつつしむこと。

問一　――線1「世の中は私が思っているよりも上等なのかもしれない」とありますが、「私」が、このように思ったのは、どのような様子を目にしてきたことによるのかを、次のようにまとめるとき、［　　］に当てはまる表現を、十字以上、十五字以内で書き抜きなさい。

特に宣伝しているわけでもなさそうなのに、いつどんなときに食べてもしみじみとおいしい素朴なパンを求める人たちで、近所のパン屋に［　　］様子。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

問二　――線2「とてももう一度自分で焼く気にはなれなかった」とありますが、「私」が、このように思った理由が分かる最も適当な一文を文中から抜き出し、その最初の五字を書きなさい。

問三　――線3「つるつるした感想」とありますが、この表現から、「私」が、パン教室の参加者たちの感想を、どのように思っていることが分かりますか、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア　思いやりのないもの。　イ　あたりさわりのないもの。　ウ　型破りなもの。　エ　その場にふさわしくないもの。

問四　――線4「少なくとも私はパン教室に参加しなければずっと見過ごしたままだったろう」とありますが、「私」がパン教室に参加したことによって、世の中で仕事をすることに対する「私」の考え方はどのように変化しましたか。その変化が分かるように、九十字程度で説明しなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

昔、唐の絵かきに戴嵩（たいすう）といふあり。牛をえものにてかく事上手なり。ある時、角を振り尾を立てて、牛どもの戦ふをかく。ひとしほうるはしくいできたりと思ひて、人々に見せあへり。その後、牛つかふ小童の、野飼ひに出でたるにこの絵を見せ、汝（なんじ）が朝夕つかふ牛に、よく似たるかと1いひて問ひし時、牛飼ふ小童、これを見て笑ふ。「いかに。」となれば、「牛の戦ふ時は、尾を立てずして腹に尾を付くるものなり。この絵は尾を立てたれば、2あやまりなり。」といひし。戴嵩驚き、げにもと感じ、その絵を破りたり。

3まことに名人は、何事によらず、戴嵩のごとくありたきものなり。戴嵩ほどの牛かきなれども、まことの牛に手なれぬ事なれば、あやまりもやあるらんと、朝夕なるる牛飼ひの小童に見せたるは、名人の戴嵩なればこそ。

（中川喜雲「私可多咄」より）

（注）えものにてかく事——最も得意なものとして描くこと。
ひとしほ——一段と。
牛つかふ小童——牛飼いをしている子ども。「牛飼ふ小童」、「牛飼ひの小童」も同じ。
驚き——はっと気が付いて。
げにも——もっともだ。
手なれぬ——扱い慣れていない。
あやまりもやあるらん——誤りもあるかもしれない。

問一　——線1「いひて問ひし時」とありますが、このときの戴嵩の言葉を全て抜き出し、その最初と最後の四字をそれぞれ書きなさい。

最初 □□□□

最後 □□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　――線2「あやまりなり」とありますが、小童が戴嵩の絵の誤りについて話した内容を次のようにまとめるとき、［　］①、②に当てはまる表現を、それぞれ五字以上、十字以内で書きなさい。

戦っているときの牛は、尾を立てず［①］けれども、戴嵩の描いた絵の中の牛は、尾を［②］。

①［　　　　　　　　　　］

②［　　　　　　　　　　］

問三　――線3「まことに名人は……ありたきものなり」は、「本当に名人というものは、どのようなことについても例外なく、戴嵩のようであってほしいものだ」という意味ですが、ここで筆者は、名人にはどうあってほしいと考えていますか、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア　自分の作品の手本となるものを毎日観察するほどのひたむきさをもってほしい。

イ　自分の作品を人々に見せる機会を増やし、多くの人々に広める努力をしてほしい。

ウ　自分の作品に対する他人からの意見を受け入れるような謙虚さをもってほしい。

エ　自分の作品の仕上がりに関わらず、作品を大切にするような心がけをもってほしい。

［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

二〇一七年度
北海道公立高校入試問題

一

解答

問一、(1) きそく　(2) おうぼ　(3) あらた(めて)　(4) おど(る)　問二、(1) 設置　(2) 運賃　(3) 盛(りつける)　(4) 勢(い)
問三、(1) 七　(2) 揚州に下る　問四、エ　問五、(1) 和歌　(2) 登場人物の思いが凝縮している(もの)(14字)　(3)(『源氏物語』は、)平安時代に書かれ、作者は紫式部(です。)(15字)(同意可)

解説

問三、(1) 四句で構成され、それぞれの句が七字で書かれている詩。(2)「一・二点」は、「一」のついている字から「二」のついている字へと戻って読む。
問四、「大きな」は、活用のない自立語で、体言を修飾する連体詞である。ここでは、直後の名詞を修飾している。
問五、(1) 五・七・五・七・七の三十一文字で構成されるものを表している。(2) 気持ちがまとめてこめられている状態をたとえた表現である。「ここぞ、というときの和歌」についての説明でくわしく述べている。(3)「源氏物語」の「書かれた時代」は平安時代で、「作者」は紫式部。

口語訳

黄鶴楼で孟浩然が広陵に旅立つのを見送る　李白
古い友人が、西の方の黄鶴楼を去って
花が煙るように咲く三月に、揚州に下る
一艘の船の帆の遠景が、青い空に消えて
ただ長江が、天の果てに向かって流れるのを眺める

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

二

解答

問一、開幕　問二、⑴（誤って使われている漢字）易　（正しい漢字）益　⑵（誤って使われている漢字）強　（正しい漢字）協

問三、⑴エ　⑵海岸の砂地に自生し、耐寒性が強い（16字）（同意可）　⑶（また、ハマナスの花は、）良い香りがするので香水に使われたり、花びらの色が美しいので見て楽しむために庭木として栽培されたりしています。（同意可）

解説

問一、「除雪」とCの「開幕は」は、上の漢字が動作を表し、下の漢字がその対象を表している。Aは「存在」で、同意の漢字の組み合わせ。Bは「宝庫」で、上の漢字が下の漢字を修飾している。Dは「往復」で、反意の漢字の組み合わせ。

問三、⑴「みなさんは知っていますか」「ハマナスを見て、どのような印象を持ちましたか」などの質問を投げかけていることをおさえる。⑵ハマナスの「生命力が強い」理由を表す言葉が入るので、(A)の「海岸の砂地に自生する」という生育地や「耐寒性が強い」という性質に着目する。⑶(A)に、ハマナスの特徴を生かした利用法として、「芳香があり、香水の原料がとれる」「花弁の色が美しいので、観賞用に庭木として栽培される」ということがあげられている。「芳香」「花弁」「観賞用」などの言葉を分かりやすく言いかえる。

三

解答

問一、客足が途絶えることがない（12字）　問二、想像してい　問三、イ　問四、私は、世の中では、仕事を適当にやっていれば適当にやっていけると思いかけていたが、仕事が人から認められるためには、地道な仕事を常に淡々とこなすことが大切だと考えるようになった。（87字）（同意可）

解説

問一、「特に宣伝しているわけでもなさそうなのに」に続いて、いつもたくさんの人たちが買いに来ている様子が入る。

問二、「あの工程」は、「篩に取った小麦を延々と…額にはうっすらと汗をかいていた」という状況を指す。この作業に対する「私」の感想を表す一文をおさえる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三、「つるつるした」が、引っかかるところのない様子を表していることから考える。
問四、「適当にやっていれば、適当にやっていける」と思いかけていた考え方が、「適当にやってちゃ、あのパンは焼けない」ことに気づき、「ぱっと思いつくアイデアのすごい人」だけではなく「地道な作業を淡々とこなす」人がいて、世の中の仕事は成り立っているという考え方に変化していることをおさえる。

四

解答

問一、（最初）汝が朝夕　（最後）似たるか　問二、①腹に付けている　②立てている（それぞれ同意可）　問三、ウ

解説

問一、戴嵩が野飼いに出ている「牛つかふ小童」にこの絵を見せて聞いた言葉をおさえる。言葉の最後は引用を示す助詞「と」に着目する。
問二、「牛飼ふ小童」は、「牛の戦ふ時は、尾を立てずして腹に尾を付くるものなり」「この絵は尾を立てたれば、あやまりなり」と言っている。
問三、戴嵩が優れた絵かきであるのに、「まことの牛に手なれぬ事なれば、あやまりもやあるらん」と思い、「朝夕なるる牛飼ひの小童に見せたる」ということを評価していることをおさえる。

口語訳

昔、唐の絵かきに戴嵩という者がいた。牛を最も得意なものとして描くことが上手だった。あるとき、角を振り尾を立てて、牛たちが戦う絵を描いた。一段と立派に描けたと思って、人々に見せてまわった。その後、牛飼いをしている子どもで、牛の放し飼いに出ている子どもにこの絵を見せて、「お前がいつも飼っている牛に、よく似ているか」と言って聞いたときに、牛飼いの子どもは、この絵を見て笑った。「どういうことだ。」と聞いたところ、「牛が戦うときは、尾を立てずに腹に尾を付けているものです。この絵は尾を立てているので、間違いです。」と言った。戴嵩ははっと気が付いて、もっともだと思って、その絵を破った。
本当に名人というものは、どのようなことについても例外なく、戴嵩のようであってほしいものだ。戴嵩ほどの牛描きであっても、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

本当の牛を扱い慣れていないので、誤りもあるかもしれないと、いつも慣れている牛飼いの子どもに見せたのは、名人の戴嵩だからこそである。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。